

## 「平成30年相模の大凧まつり」結果概要

1 開催日時 平成30年5月4日（金・祝）・5日（土・祝）午前10時～午後4時

2 開催場所 相模川新磯地区河川敷  
新戸地区凧揚げ会場（8間凧、4間凧）  
勝坂地区凧揚げ会場（5.5間凧、3間凧）  
下磯部地区凧揚げ会場（6間凧、3間凧）  
上磯部地区凧揚げ会場（6間凧、4間凧）

3 主催者 相模の大凧まつり実行委員会（実行委員長 川崎 喜代治）

4 期間中の観客数

期間	観客数	ピーク	天候
5月4日（金・祝）	4会場延べ 80,000人	14:00 35,000人	晴れ
5月5日（土・祝）	4会場延べ 90,000人	14:00 40,000人	晴れ
両日合計	170,000人		

今回は、5月4日 80,000人、5月5日 90,000人、計170,000人  
過去最高の人出は、平成22年の180,000人

5 経過

5月4日・5日の両日、相模原市の伝統行事「相模の大凧まつり」が開催されました。

今年の題字「<sup>すいふう</sup>翠風」には、相模原市のシンボルカラーでもあり、この地域の美しい緑を表す“翠”の文字が使われ、草木の新芽のように素直な心を持ち、輝く子になってほしいという願いが込められています。

5月4日は快晴で風にも恵まれ、各会場では正午頃から大凧揚げにチャレンジしました。下磯部地区の6間凧は13分以上大空高く舞い上がり、また、最も大きな新戸地区の8間凧は3回のチャレンジを行い、1分を超える滞空時間を記録しました。

5月5日も引き続き天候には恵まれたものの、前日より弱風であり、各地区とも記録を伸ばすことができませんでしたが、複数回にわたりチャレンジを繰り返す姿に、訪れた観客から大きな歓声が沸きあがりました。

なお、4日に行われた凧揚げの際に引き手等の男性5名が負傷しましたが、いずれも軽傷でした。この事故を踏まえ、実行委員会では5日の開催に当たり、関係者を集め、基本動作の確認等について改めて講習を行い、安全対策及びに事故の再発防止について周知徹底を図りました。

\* 各地区の凧揚げ状況については次のとおりです。

## 各地区の凧揚げ状況

(5月4日) 天候：晴れ

地区名	凧揚げ回数	最長時間	時刻(何回目か)	風向き
新戸	8間凧3回	1分15秒	午後2時23分 (3回目)	南風
勝坂	5.5間凧1回	5分20秒	午後2時09分 (1回目)	南風
下磯部	6間凧1回	1分32秒5	午後1時09分 (1回目)	南風
上磯部	6間凧1回	4分00秒	午後1時00分 (1回目)	南風

これまでの8間凧の最高記録...平成14年5月4日 6時間7分55秒

(5月5日) 天候：晴れ

地区名	凧揚げ回数	最長時間	時刻(何回目か)	風向き
新戸	8間凧2回	15秒	午後3時20分 (2回目)	南風
勝坂	5.5間凧4回	28秒	午後1時53分 (2回目)	南風
下磯部	6間凧5回	2分00秒	午後3時15分 (4回目)	南風
上磯部	4間凧10回	3分20秒	午後2時56分 (9回目)	南風

お問い合わせ  
商業観光課  
担当：小林、土屋  
電話：042-769-8236